

# 鏡野町まちづくりニュース Vol.2

鏡野町では、人口減少や少子高齢化が進んだ社会であってもコンパクトで暮らしやすく持続可能なまちづくりを進めるため、新しいまちづくり計画(都市計画マスタープラン・立地適正化計画)を策定しています。

皆様に進捗状況や今後の予定等についてお知らせさせていただくための情報として、「鏡野町まちづくりニュース Vol.2」を作成しました。本号では、都市の現状、都市づくりの課題と視点、委員会の概要やご意見、今後のスケジュールについてお知らせいたします。

## 1 都市の現状

鏡野町の現状を整理すると以下の通りです。皆さんの日常生活へのさまざまな影響が懸念されています。

### 総人口は減少傾向、世帯数は横ばい

- 総人口は過去30年で 26.9%減少し、今後25年でさらに 25.6%減少することが予想されています。
- 世帯数は過去30年ほぼ横ばいの状況です。

#### 総人口及び世帯数の推移

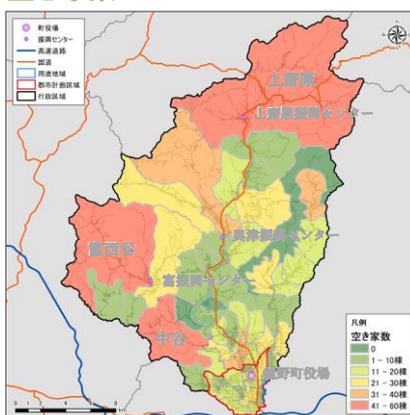


資料:国勢調査、将来推計人口(国立社会保障・人口問題研究所 R7~R27)

### 都市計画区域外の空き家数が多い

- 都市計画区域内は空き家数30棟以下の地区が2地区(円宗寺、古川)に対し、都市計画区域外は空き家数60棟以下の地区が3地区(上齋原、富西谷、中谷)存在します。

#### 空き家数

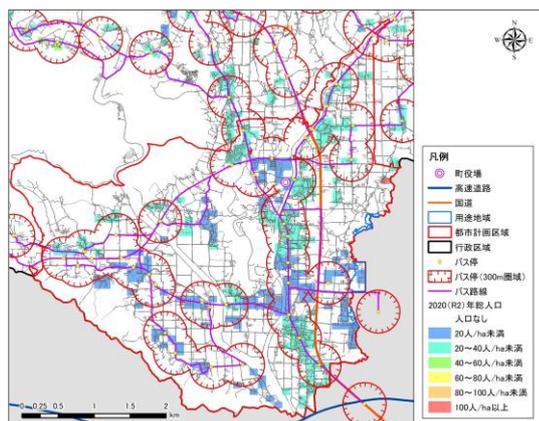


資料:鏡野町資料

### 徒歩圏人口カバー率は20年間で若干増加

- 都市計画区域の徒歩圏人口カバー率(バス停300m圏域)は令和2(2020)年の73.3%から、20年後の令和22(2040)年に73.9%へと若干増加することが予想されています。

#### バス徒歩圏人口カバー状況

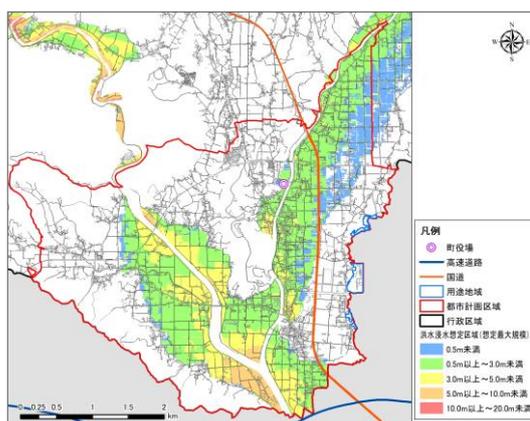


資料:鏡野町資料(バス)、中鉄バス株式会社資料、津山広域バスマップ

### 沿川で浸水深10m未満の洪水浸水が想定

- 吉井川、香々美川沿川に、2階が水没する浸水深5m未満(一部合流部付近は10m未満)の洪水浸水想定区域(想定最大規模降雨)が想定されています。

#### 洪水浸水想定区域(想定最大規模降雨)



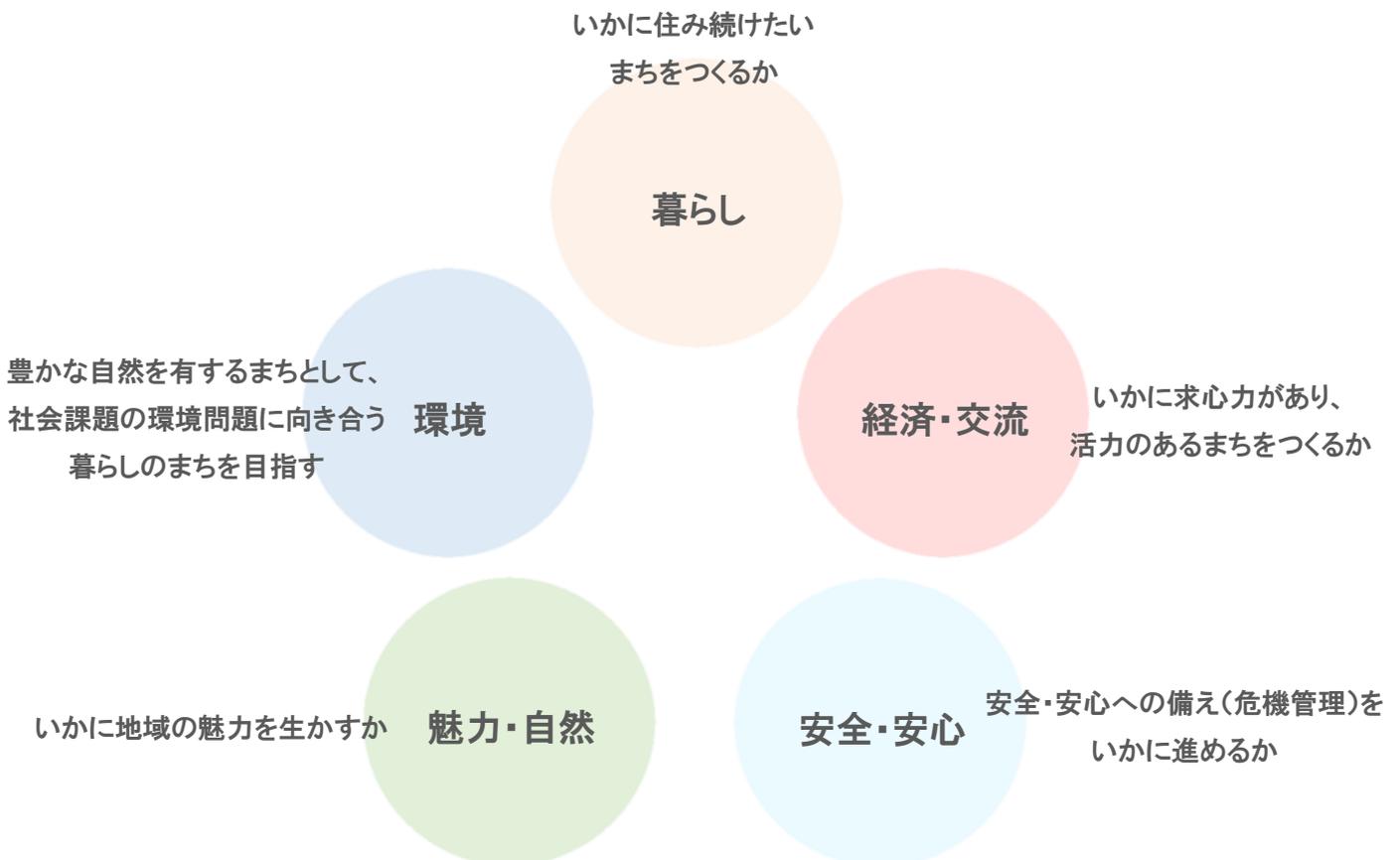
資料:国土数値情報(R4)

## 2 都市づくりの課題と視点

鏡野町の現状を踏まえた課題から、都市づくりの視点を以下のように設定します。

現状	課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>●総人口は減少傾向、世帯数は横ばい</li> <li>●総人口は過去30年で26.9%減少し、今後25年でさらに25.6%減少</li> </ul>	人口減少・少子高齢化への備え
<ul style="list-style-type: none"> <li>●都市計画区域内の空き家率は5%未満に対し、都市計画区域外の空き家率は比較的高い</li> <li>●第一次産業は減少傾向、第二次産業は横ばい、第三次産業は増加傾向</li> </ul>	都市基盤・ストック・都市機能の持続的な活用 (集約型都市構造・住宅環境の向上)
<ul style="list-style-type: none"> <li>●公共交通は、骨格となる路線バスと支線としてのコミュニティバス、乗り合いタクシーにより本町路線網を相互補完</li> <li>●都市計画区域の徒歩圏人口カバー率は20年間で若干増加</li> </ul>	公共交通のサービス水準の低下
<ul style="list-style-type: none"> <li>●吉井川、香々美川沿川に浸水深10m未満の洪水浸水想定区域(想定最大規模降雨)が想定</li> <li>●家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流、河岸侵食)が沿川に広く想定</li> <li>●土砂災害が発生した場合の危害が生じる恐れのある区域が都市計画区域外に存在</li> <li>●地すべり防止区域が土居や小座に指定があり、建物が立地</li> <li>●急傾斜地崩壊危険区域が、富西谷の一部に指定</li> </ul>	地形構造に起因する水災害と土砂災害への懸念
<ul style="list-style-type: none"> <li>●地価は、商業地が低下傾向にあり、住宅地はおおむね横ばい</li> <li>●財政状況は、【全部過疎(財政力指数0.286)】人口減少による税収の減少と福祉に係る経費が増加</li> </ul>	持続的な都市経営の推進

### 都市づくりの視点



## ・立地適正化計画策定委員会を開催しました

第2回 鏡野町都市計画マスタープラン・立地適正化計画策定委員会を9月27日に開催しました。協議内容は『都市計画マスタープラン 全体構想について』です。特に、都市計画の将来像(案)(都市計画マスタープラン・立地適正化計画)や都市づくりの方針(案)に対して、様々なご意見を頂きました。

## 「当日プログラム」

- ✓開会あいさつ
- ✓協議
  - ・都市計画マスタープラン 全体構想について
- ✓その他
- ✓今後のスケジュール
- ✓閉会あいさつ



会長挨拶



協議中

## ○都市計画の将来像(案)(都市計画マスタープラン、立地適正化計画)

安全安心で、働きやすく、暮らしやすく、便利に、  
住み続けることのできる魅力的な都市づくり(案)



## ○都市づくりの方針(案)

暮らし	定住する住みやすいまちづくり (若者定住)	【1】若者が転出しないまち、移住・定住のための居住環境の創出 【2】身近な道路・交通の改善 【3】健康になる暮らし、身近なレクリエーション空間の活用 【4】高齢者及び少子化対応の充実
環境	自然を大切にするまちづくり (持続可能な循環型社会)	【5】脱炭素先行都市の形成 【6】自然エネルギーへの転換 【7】地域の自然の保全(山林の乱開発の抑制) 【8】農業経営の継続(後継者不足、耕作放棄地)
経済・交流	にぎやかで元気なまちづくり (産業振興・交流)	【9】土地利用による活力向上 【10】観光・産業に資する交通の充実 【11】雇用の創出 【12】産業・観光による経済力向上 【13】交流にぎわいの創出 【14】小さな望みを叶えるまちの実現
魅力・自然	山や川や歴史を生かすまちづくり (地域資源・文化)	【15】地域資源の観光利用、培われてきた歴史・文化の保全・活用 【16】新たな魅力づくり 【17】自然再興(ネイチャーポジティブ)、自然資源の観光利用
安全・安心	災害に対し、安全・安心なまちづくり	【18】災害リスクの回避 【19】災害リスクの低減

※都市計画の将来像(案)(都市計画マスタープラン、立地適正化計画)や都市づくりの方針(案)につきましては、検討段階のものであり、内容を変更する場合がございます。ご了承ください。

## 4 委員会ではこのようなご意見が出ました

第2回 鏡野町都市計画マスタープラン・立地適正化計画策定委員会を9月27日では下記のようなご意見を頂きました。計画に反映して参りますので、皆様もその他ご意見等ございましたら、お気軽にお寄せください。



- 若者の流出が課題。奥津の観光名所が生かせていない。人の交流や経済の活性化につなげていきたい。
- 北部の住民がほったらかしの印象。移動手段が減少して空き家や耕作放棄地が増えていくのではという不安を抱いた。北部にも目を向けた計画にしてほしい。

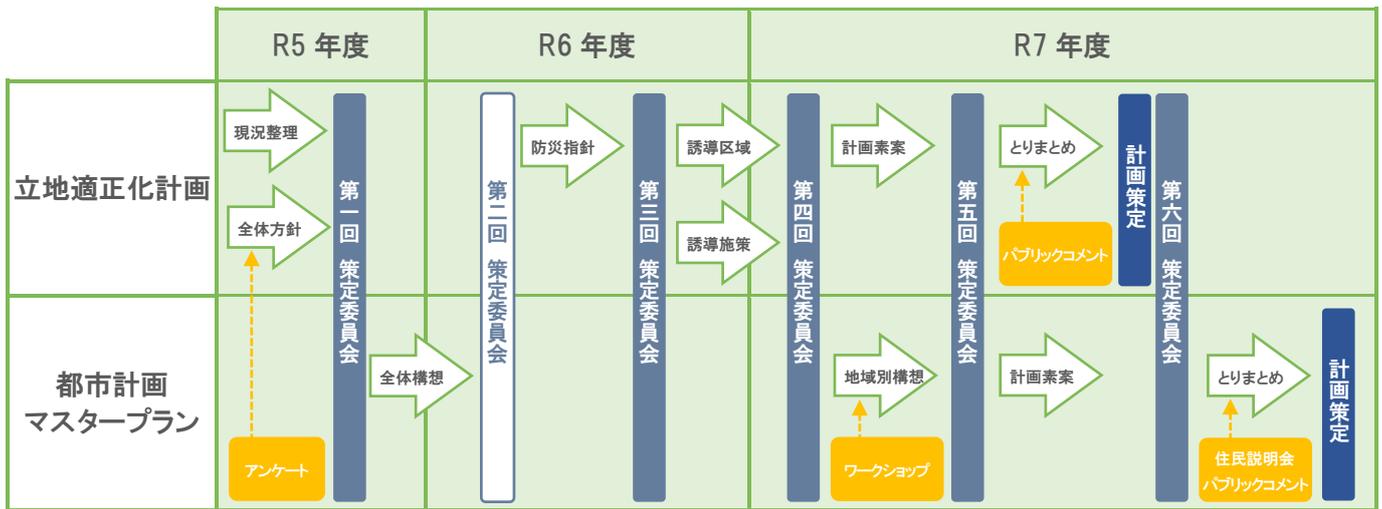
- 薬剤師の不足により院内薬局が難しくなり、交通手段を持たない方の負担となることが課題。DX活用による対応も必要。
- 脱炭素について都市計画マスタープランの中で、町として今後こんな施策をしていくといった方向性を示す必要はあるのでは。



- 観光としては渓流を整備し、アドベンチャーゾーンやリゾートゾーンとしたら、自然を体感できるのではないかな。
- にぎやかな町の中心地がほしい。人口減少の対策として、企業誘致が考えられる。若者が就職したいと思えるような知識集約型産業を誘致してほしい。

## 5 今後のスケジュール

本業務は以下のスケジュールの予定で進めていきます。今後、ワークショップやパブリックコメント、住民説明会を実施し、皆様のご意見を伺う予定です。皆様のご意見・ご参加を心よりお待ちしております。



次回の第3回鏡野町都市計画マスタープラン・立地適正化計画策定委員会は、本会議の意見を踏まえ、上記のスケジュールに基づき、1月～2月頃に開催予定です。

問い合わせ先：鏡野町 総合政策室（担当：榎本、石原）

☎0868-54-2983

✉sougou@town.kagamino.lg.jp